

中間支援活動助成(基本)事業実績報告

団体名	(認定) ソーシャルデザインセンター淡路	代表者名	理事長 木田 薫
事業名	SODA 地域応援事業 2022		

<事業実施実績>

	①相談業務	②ネットワークの構築 情報提供	③人材育成 (講座開設等)	④書類作成 指導	⑤その他 (調査研究等)
R3 実績	1	8	9	0	2
R4 計画	随時	9	4	随時	1
R4 実績	1 1	1 1	1	1	3

<効果と成果>

「地域をつなぐ」というまさに中間支援の役割を、今年度も十分果たせたと感じている。その一つとして洲本実業高校商業科と SODA が以前から取り組んでいる「SDGs 貢献プロジェクト」の活動の連携先である団体、さらには、今年度から連携事業が始まっている神戸市の NPO 法人にも加わっていただき「つながりマルシェ」を開催できただけでなくこの高校の取り組み発表が、近畿代表で全国大会に出場することとなり、大いに成果があったといえる。

また、当初連携を図る予定だった NPO 法人とは、顔合わせをし、別の団体とも連携をとることができた。最後に今年度は、SODA も設立 12 年目となり、今まで関りの深い先生方の講演会を「地域づくり応援セミナー」として今後、開催していく。その第 1 回には、110 人も参加者があった。地域づくりに取り組む中で時代の流れを読むことは重要である。今回のように広く世界情勢等について知ること、明日の淡路島を考えていきたい。また、島の市役所実践編では、まちの中の隠れた魅力を見出すためにカメラを使った方法で取り組み、地元で大好評だった。

<今後の展望>

中間支援の相談事業は、NPO 法人の設立支援以外、「つなぐ」ことも支援となると捉えた場合、今までも、多くの相談を受けてきたことになる。改めて中間支援団体としての自信を持つことができた。SODA のさまざまな取り組みを通して、この島の中だけでなく、島外の団体等とのつながりも多く生まれており、そうしたネットワークを、これからも地域づくりに大いに役立てて、地域の活性化を担えるように取り組んでいきたい。今後の展望として、ありがたいことに、それぞれの地域での要望があり、SODA の拠点南あわじ市のみならず、洲本市、淡路市、さらには神戸市内にもできる可能性が生まれている。ぜひ中間支援団体として、さらなる飛躍を目指したい。

<収支決算書>

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	500,000
自己資金	650
合計	500,650

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直接 経 費	謝金	126,000	126,000
	アルバイト賃金	64,320	64,320
	旅費交通費	83,988	83,988
	その他(HP 管理委託料、印刷費、 会場費 等)	94,410	94,410
	小 計	368,718	368,718
	間接経費 (一般管理費)	131,932	131,282
	合 計	500,650	500,000